

## 『国際安全保障』投稿規程

『国際安全保障』編集委員会

『国際安全保障』は、国際安全保障に関連する分野の学術活動を発展させるための学会誌です。特集関連の論文や書評について編集委員会が執筆を依頼するとともに、論文、研究ノート、書評論文について当学会会員の投稿原稿を掲載する方針です。投稿の権利は当学会会員にのみ与えられますが、共著論文の場合は著者の1人が会員資格を有していることを条件とします。なるべく多くの投稿原稿を掲載する方針ですので、以下の規定に従って積極的に投稿いただきますようお願いいたします。

### 1. 原稿の種類、枚数制限などは以下の通りです。

#### ① 論文、研究ノート、書評論文

20,000字以内（400字換算50枚。図表・注を含む）

\*論文の提出時に和文のサマリー（400字以内）を提出してください。英文のサマリーを希望される方は、両方提出していただいてもかまいません（200語以内）。ただし、英文サマリーの場合は必ずネイティブ・チェックを受けたものを提出してください。

\*なお、『国際安全保障』の特集は主に依頼論文で構成されますが、特集テーマに関連する論文、研究ノートの投稿も歓迎いたします。投稿される場合は、遅くとも出版予定の4カ月前までに原稿を提出して下さい（例：12月の出版予定であれば8月末までに提出）。採否は通常の投稿論文と同様の基準で決定いたします。また、採用されても誌面の制約などで特集号に掲載できない場合もありますので、その点はあらかじめご了承下さい。

\*書評論文の投稿を希望される会員は、対象著書の重複を避けるため、できるかぎり投稿前に編集委員会にご相談ください。

#### ② 「批評と応答」原稿

2,000字以内（400字換算5枚）

\*欧米の学術誌にある「Correspondence」です。本誌に掲載された論文、書評などに対する会員からのコメント、また、そのコメントに対する著者からのコメントで構成されます。特に、論文の筆者が見落としている事実関係や史・資料の指摘、ご自身の著書に対する書評へのコメントなどを歓迎いたします。なお、ご自身の著書に対する書評へのコメントの場合に限り、非会員の方からの原稿も受け付けます。

### 2. 原稿は書き下ろしの完成原稿に限ります。他誌への二重投稿は認められません。また、

同一の執筆者が1年以内に2回以上『国際安全保障』に投稿することは原則としてできません。但し、「批評と応答」原稿についてはこの限りではありません。

3. 原稿は横書きの日本語とし、作成にはマイクロソフト社の「Word」（拡張子は.doc または.docx）を使用して下さい。手書き原稿は受け付けません。なお、「Word」以外のソフトウェアを使用する必要がある場合には、事前に編集委員会までご相談ください。
4. 原稿作成にあたっては、「『国際安全保障』執筆要領」に従って下さい。投稿規程や執筆要領についてご不明の点があれば、投稿前に編集委員会に問い合わせてください。なお、原稿が執筆要領から著しく逸脱していると編集委員会が判断する場合、審査の対象となりませんので、ご注意ください。
5. 投稿者は、以下の文書を内外出版（株）内の国際安全保障学会事務局宛に電子メールに添付してお送りください。

①論文

②和文サマリー（および英文サマリー）

③以下の情報を記載したメモ

論文のタイトル、文字数

投稿年月日

氏名（ふりがな）、所属・職位

住所、電話・FAX 番号、電子メール・アドレス（それぞれ1つずつ）

\*基本的に編集委員会からの連絡は電子メールで行います。電子メールでの提出および連絡が難しい場合は、事務局までご相談ください。

\*投稿者に対しては1週間以内に編集委員会から受領の連絡をお送りします。メールでの送受信にともなう事故を避けるため、1週間経っても受領の連絡がない場合、投稿者は事務局にお問い合わせください。

\*編集委員会からの受領の連絡をもって、投稿論文は投稿完了とみなします。

\*上記の①～③の電子ファイルは、それぞれ、「タイトル（原稿の種類、著者名、投稿年月日）.拡張子」のようにファイル名を付けて下さい。

例：①「先制攻撃」と安定性（論文、田中凜子、2009.7.14）.doc/docx

ロシア語文献にみる冷戦原因論（研究ノート、鈴木太郎、2009.2.26）.doc/docx

梅本「オバマ政権の始動」（批評と応答、柴田美智子、2009.7.14）.doc/docx

②「先制攻撃」と安定性（サマリー、田中凜子、2009.7.14）.doc/docx

③「先制攻撃」と安定性（著者連絡先、田中凜子、2009.7.14）.doc/docx

送付先：

国際安全保障学会事務局

editor@is-japan.org および jais@naigai-group.co.jp

6. 論文、研究ノート、書評論文の採否は、編集委員会および編集委員会内の書評委員会、ならびに委員会外の匿名の査読者 2 名の審査をもとに編集委員会が判断いたします。論文審査中、査読者 2 名に対して原稿は匿名とされますので、内容から筆者が特定できるような記述（氏名および所属先・職位、「拙著」などの表現、助成金に関する情報、謝辞など）は避けて下さい。

「批評と応答」原稿の採否は編集委員会が判断いたします。

原稿を受領した時点で、編集委員会から投稿者に対してその由をお知らせします。さらに原稿の取り扱いが決まった時点で、再び編集委員会から投稿者にご連絡いたします。論文の場合、原稿の受領から採否が決まるまで通常 3 カ月程度かかります。

なお、採択された論文には投稿年月日および掲載決定年月日を明記して掲載します。

7. 著者校正は原則として初校、再校の 2 回のみとさせていただきます。校正は印刷上の誤り、不備の訂正のみにとどめて下さい。校正段階において著しい加筆や訂正があったと編集委員会が判断する場合には、掲載を中止することがあります。

8. 『国際安全保障』に掲載された論文等の著作権のうち、複製権、翻訳・翻案権、公衆送信・伝達権を学会長に譲渡していただきます。著作権についての詳細は別途に定める著作権規程に従います。

2012 年 12 月 8 日

2016 年 3 月 4 日（改定）

2017 年 4 月 4 日（改定）

2020 年 10 月 3 日（改定）